

2026年度（令和8年度）第1回定時理事会 議事録

[1] 開催：2026年6月4日（木）13:00～18:09

- ・会議形式：実会議とウェブ会議（ZOOM）併用実施
- ・実施会場：Japan Sport Olympic Square14階（東京都新宿区）

[2] 出席（理事28名、監事2名）：

岩城光英、山倉紀子、仲井公哉、和田知子、大塚眞一郎、伊藤一博、中山俊行、関根明子、山根英紀、上田藍、石井なおみ、森幸、坂田洋治、小田英男、大村真人、中山偉久、宮本悦子、村上幸生（以上、理事18名会場出席）

鈴木貴里代、富川理充、佐藤圭一、的場美友紀、笠次良爾、豊岡正康、大関辰郎、北村格一、須山浩光、池淵功寛（以上、理事10名オンライン出席）

秋山智昭（オンライン）、萩原政吉（会場）、（以上、監事2名出席）

オブザーバー（11名）

顧問（1名）中山正夫、エイジグループ普及委員会副委員長（1名）若山源二郎、

事務局出席（9名）児玉健太、則俊直哉、萩原舞、大岩葵、内藤裕也、檜山翠、吉越美佐、稲田大輝、高柳立矢

[3] 議事の経過

定款第6章（理事会）第34条（決議）により、進行役の則俊マーケティング・事業局主任が、利益相反による一時離席などについて説明の後、理事出席を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。定款33条（議長）により、岩城会長が議長として開催宣言を行い、同第23条（理事の職務及び権限）による会長及び業務執行理事の職務執行状況を報告した。その後、定款第35条（議事録）により、岩城会長、萩原監事、秋山監事を議事録署名人、大塚専務理事、森理事を議事録確認の署名人とし、議事録作成者に事務方を指名して議案の審議に入った。

[4] 審議事項

第1号議案）前回議事録

標題について、メール回覧済であるとの児玉事務局次長の報告があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項1）2025年度 第5回定時理事会（3/12）議事録
- ・承認事項2）2026年度 臨時理事会（4/9）議事録
- ・承認事項3）2026年度 臨時理事会（5/21）議事録

第2号議案）2025年度 事業報告・決算報告・監査報告（案）

標題について、児玉次長、大塚専務理事、萩原監事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1）2025年度（令和7年度）事業報告（案）
- ・承認事項2）2025年度（令和7年度）決算報告（案）

- ・承認事項 3) 2025年度（令和7年度）監査報告（案）

第3号議案）諸規程関連

標題について、児玉次長から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

承認事項 1) 定款の変更案

特定の役職に権限や業務が集中しない体制の整備と、組織全体でリスク管理できる柔軟性と持続性ある運営体制を構築を目的に次の変更を行う。

- ・変更趣旨)
 - 1) 「代表理事」を「2名以内」配置できる体制の構築
 - 2) 「専務理事」の実務統括の責任を「常務理事（5名以内）」へと分散・移行
 - 3) 「業務運営部会」の明文化
- ・変更スケジュール）定款変更案の施行開始は2027 年 6月の定時社員総会からとする。
- ・該当条項)
 - 第1条（名称）：略称として「TRIJ」を追加
 - 第3条（目的）：ハイアスロン・ハイロックス、スイムランなどマルチスポーツの競技名・種目名の追記
 - 第4条（事業）：第3号国際大会の開催と代表選手の派遣を第2号競技開催開催と第4号競技力向上それぞれに統合
 - 第15号（招集）：代表理事の記載の削除
 - 第21条（役員の設置）：専務理事に関する記述の削除、代表理事に関する記載の追加。
 - 第22条（役員の選任）：会長、専務理事に関する記述の削除
 - 第23条（理事の職務及び権限）：専務理事に関する記述の削除、業務運営部会に関する記述の追加
 - 第28条（役員の報酬）：専務理事に関する記述の削除
- ・主要質問1) 代表理事が2名の場合の役割に違いがあるのか。1名の場合もあるか。
規程では定めていない。2名いる場合は、1 名が渉外担当、1 名がマネジメント担当など役割分担することが可能。1名体制での運用も可能。代表理事を 2 名を採用した場合、共同代表ではなく、それぞれが代表権を持つことができる。
- ・主要質問2) 専務理事の責任はどこへ移譲されるのか
5名以内の常務理事へ分散移行。集中リスクの解消とチェック機能の強化が目的。
- ・主要質問3) 定款以外の諸規程の変更スケジュール
2027年度迄に理事会で審議を予定。
- ・補足説明)
 - ・本変更に伴う字句及び条項の整理を行う。
 - ・総会提案時には組織体系の図式化や補足説明を行う。

第4号議案）強化事業関連

標題について、児玉次長から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

承認事項1) JSCアスリート助成の推薦

- ・トライアスロン推薦候補：1) 林愛望（学連）、2) 平泉真心（茨城）
- ・パラトライアスロン推薦候補：1) 保田明日美（愛知）、2) 宇田秀生（滋賀）、3) 秦由加子（千葉）

承認事項2) オリンピック・ナショナルチーム次世代プログラム（2026年度）更新（案）

- ・評価ポイントの対象大会と認定期間をの修正

承認事項3) アジアトライアスロン・ユース選手権/出場推薦基準（2027年～）（案）

- ・ワールドトライアスロン・アジアトライアスロン公式大会 出場推薦基準における、アジアトライアスロン・ユース選手権の2027年以降の出場推薦基準の更新。日本U15アクアスロン選手権の評価と適用条件を追記。

承認事項4) 認定記録会 マニュアルの変更（案）

- ・2026年10月以降の適応開始として、U15/U12/U10/U8のスィム距離と認定タイムの変更
- ・スィムウェアールの更新。パラ運用ガイドラインの更新

第5号議案) 技術審判関連

標題について、伊藤技術委員長から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

承認事項1) 2026年国際大会・日本選手権等のTD/HR/MDの推薦

- ・第4回日本アクアスロン選手権(2026/東京・海の森)および第2回日本U15アクアスロン選手権(2026/東京・海の森)

技術代表：門屋 良（愛媛、第1種）、審判長：北野 健二（東京、第1種）

- ・第2回日本エイジグループアクアスロン選手権（2026/東京・海の森）

技術代表：片倉 亜矢（東京、第1種）、審判長：阿部 拓希（東京、第2種）

報告事項) T0活動時のサングラス着用推奨について

〔5〕報告事項

報告事項1) 危機管理案件

報告事項2) 加盟団体・ブロック関連

北海道ブロック：アイアンマン（IM）北海道T0募集協力の依頼

東北ブロック：高校生選手権（福島）、青森国スポの準備状況

関東ブロック：ブロックの組織の体制の課題

東京ブロック：助成事業の申請、クラブサポートプログラム（CSP）との連携

北信越ブロック：各大会募集状況の共有、能登半島被災地をめぐる、のとじまでのロング大会を28年に予定

東海ブロック：愛知名古屋アジア大会（コース発表、競技ボランティア状況、地元の機運醸成等）

近畿ブロック： ワールドマスタースゲームズ2027関西（WMG）プレ大会 南丹デュアスロン、AC大阪城の開催報告

中国ブロック： 大会におけるテクニカルオフィシャルの不足、高齢化

四国ブロック： 大会におけるテクニカルオフィシャルの不足、高齢化

九州ブロック： 天草大会、CSP実施の報告

報告事項3）国際関連

報告事項4）事業関連

報告事項5）次回社員総会案内

報告事項6）専門委員会関連

〔6〕ウェブ会議関連の特記事項

議長に代わり事務方が、審議に関わるインターネット接続等において聞き取れなかったことや、発言できなかったことなどがないかを確認した。格別な発言がなく、インターネットによる議事進行は滞りなく行われたことを確認し報告した。

〔7〕閉会挨拶

閉会挨拶を山倉副会長が行い、18時09分に閉会した。

公益社団法人トライアスロンジャパン2026年度第1回理事会の議事録が正確であることを証するため、以下、署名又は記名押印する。

（岩城光英・議長・会長・代表理事） （印） 2026年 月 日

（荻原政吉・監事） （印） 2026年 月 日

（秋山智昭・監事） （印） 2026年 月 日

（大塚眞一郎・専務理事） （印） 2026年 月 日

（森幸・理事） （印） 2026年 月 日